

生ごみ少年泰無頼

プラープ

福富渉 訳

しゃむ・あらんかあん
華麗暹羅に吉祥溢れる時
詳らかな泰無頼たいむらいんを尽力の末作出すれば
粗忽な少年とえんは病に冒され
貧乏人たる〈生ごみ〉として
齡九つになるところの小学2年生
泰無頼の如き作文を認めさせ
こちらの意図を申し添えれば
上様方が御心配の
また不羅捨茶具ぶらすちつくや
皺苦茶となり
音読するにも耐えない言葉故
以上をもって卓抜の閣下へ

御足元に跪き心より認め奉る
閣下の御目通しの上民に御示しを
毛穴まで熱に蝕まれ血の気は薄く
〈資源ごみ〉の地区から遠く離れて暮らす
読み書きが得意で物語られれば
小生が検めて手直し致した
少年の言葉選びが拙い故
外来語を取り除いた
古布に認めた作文は
頭の痛い程に擦れ滲んだ
小生の方で混乱を黒塗り致した
御心安らかに御覧頂きたく

華麗暹羅ごみ市 疫病選別部隊

陰曆末尾が3の子年6月白分9日木曜日

(仏曆26XX年4月30日)

黒分5日 あさ7じにおかさんと買いものに行った。馬子ばすにのれたのは8じだった。
あさ9じから10じ。市場はすげえしずか。香水やがたかく売って、おれたちにお金をかえさねえ。おかさんはちがうみせを知らねえ。おかさんはさぎだとそいつをおこった。ほうりつは助けてくれねえ。あいつにはなんもできねえ。
あさ11じ。馬子にのった。あさと同じ馬子だった。しゃしょうさんがきょうは1だいかはしってねえとおせえてくれた。
おひるにいえについた。おとさんはおかさんに、ぶきを買ってこいっておこった。まえ、おかさんはおとさんに、となりのきいぶおじさんとけんかすんなってゆった。そしたらぶきは買わないでいい。この3日、いえにかえってきたらま

いにちけんかしてる。だけどきょうはおかさんもぶきがほしいってゆった。香水やをかたづけてやるって。

黒分6日

あさ、おとさんにでんわがかかってきた。びょうきのけんさのけっかだ。おとさんはすんげえおこった。おいしゃさんはおかさんにもけっかをおせえたけど、おかさんはおこんねかった。おかさんはおれに、おとさんの近くに行くなってゆった。おとさんはおこったらあたまがいたくなかった。それから、おれたちに香水をむだに買わしたきいぶおじさんのこともおこった。おとさんが~~マア~~普安のごみばこのふたが、あさの1じにそんくらんのちゅうしをはっぴょうしたからだ。だからきょうはだれも水であそばねえ。

おひるにおとさんがおかさんをたたいた。おかさんはおとさんがきめたとおりにした。だけどおとさんは、またおかさんをたたいた。おとさんはつええ力がほしい。おかさんはおれを、のんばあさんの店ににがした。ごみごはんをひとふくろもらって、お金ははらってねえ。こうゆうのはむだじゃねえ。

黒分7日

あさ8じ、おれはおかさんを水あそびにさそった。おかさんは目がはずかしいってゆった。おかさんはこんなふうに目にあざができたことはねえ。ここに来てから、あざがいっぱいできるようになった。なきそうな人みたいに、なみだが出てる。かんせんしょうがうつったみたいに、おれがさきになきそうだった。けどおかさんはなかねかった。

おかさんはそとに出たくなかった。助けてもらってほかの人にゆわれるのがめんどくさかったみてえだ。おれたちのまわりのいえも、みんな助けてもらってる。だけどおかさんは、おとさんがゆるしてくれるとしんじてる。

おれはとうあ先生のいえに、ひとりであそびに行った。だれもいっしょに行ってくれねえ。先生のまごも、しげんごみの子たちのしゅくだいをやってあそんでくれねえ。しげんごみのやつらは先生のまごをやとってるから、おれはあそんでもらえねえ。とうあ先生は、あいつらはしゅくだいが多くてやりおわらねえってゆった。先生もまごをやとってもらえれば、お金がもらえる。そいでびょうきのくすりと^ますくが買える。先生は、もし金がほしかったらべんきょうできるようになって、そしたらまごみたいにやとってもらえるとゆった。おれがずっとたきを見てるのを見て先生は、大きくなったらなんになりてえかきいた。先生は、おれが金もちになりてえとかんがえてるみてえだ。でもそうじゃねえ。びんぼうにんがほどほどを知ってるほどには、金もち^どはしあわせじゃねえって^ま土ら^までもゆった。おれはおとさんとおかさんみたいな、けんせつのさぎょういんになりて

え。まえこっぷ先生にこれをゆったら、ほかのになりたくねえのかってずっときかれた。とうあ先生にそうやってきかletたくねえ。もしおかさんがいたらこええ目でにらまれたとおもう。だからおれは、はいゆうになりてえってゆった。そしてたら~~マクチン~~和久真がさきにうてる。そいでおきやくさんにもこえをかける。ごご1じに、ちうのやつと水あそびに行った。でもそこのおとながあそばせてくれなかった。とうあ先生は、もしおれがあいつらのことをきたねえ犬ってよぶのをやめたら、はなびにつれてってくれるってゆった。きたねえ犬のやつらは、ごみばこのふたがはなびをちゅうししたって、先生にさからった。でもおれは先生をしんじたから、あいつらをばかにするのをやめた。先生はちゅうごく人のひゃっかてんのちかくにある、りよかんにつれてってくれた。ひゃっかてんではなびをたくさんやってた。きたねえ犬のやつらはばかだ。おれは先生に、ひゃっかてんに入らねえのかきいた。先生は、人がいっぱいびょうきがこええってゆった。先生はりよかんでおれたちふたりとげえむをしたら、お金をくれるってゆった。でもだれにも言っちゃいけねえって。

でもおれはとうあ先生とはぐれちゃって、りよかんには行けなかった。おれはべんりな店のまえですわってまっていた。おかさんが、ここはかんせんしゃが出てねえってゆったから。ここにはおまもりがあるみてえだ。

よるの8じにとうあ先生がおれを見つけてくれた。でも先生は、もうげえむはしたくなかった。りよかんで先生にせきをしたやつがいた。先生がいえにおくってくれた。

よるの9じにいえについた。おとさんはおこらねかった。つかれてるみてえだ。おとさんはまいにちつかれて、げんきがなくなって見える。おとさんはおれとおとさんのねるところを、ぬのでくぎった。おかさんはおとさんの方にいるとおもった。おとさんの方に行こうとしたら、ぜってえ入んなとゆわれた。そいで、おかさんはいねえ、ていあん兄さんのおみまいだとゆった。

黒分8日 おとさんにいえをおいだされて、一日じゅう、とうあ先生のいえであそんだ。でも先生もおとさんと同じくれえげんきがなかった。

黒分9日 あさ8じ、そんくらんがおわってしんがっきのさいしょの日。おれはとうあ先生のいえのでんしこくばんのまえで、こっきにけいいをしめた。いえにはねえから、先生のいえのでんしこくばんをかりて~~オンライン~~音頼じゅぎょうをうけないとならねえ。でも先生はいなかった。おいしゃさんに行っていた。

黒分 10 日 あさ 7 じ、とうあ先生にきゅうきゅうしゃにでんわしてもらえて、おとさんがゆった。おとさんのでんわはお金が入ってねえ。おとさんはそに出たくねえ。とうあ先生のかぞくは、おれのおとさんがびょうきになって、おれがびょうきを先生にうつしたっておこった。おれとおかさんはびょうきじゃねえと、おれはおもう。おれたちには、いいマタチン^と和久真がある。おいしゃさんがゆったみたいに、麻すくして、手をあらってる。それにおれはまいにち、麻すくをおがんでる。ごみばこのふたにもらったやつだからだ。でも先生のかぞくは、おれのはなしをきかねかった。みんなじぶんで買うんだってゆった。とうあ先生も、おれのせいでうつたってゆった。りよかんの人がせきしたからだってゆいかえしたかったけど、りよかんのはなしはしねえって、先生とやくそくしたからゆえなかつた。先生がすげえおこってるときはこええから、みんないかり^と豆^あってよんでる。ちょうどきゅうきゅうしゃが先生をむかえに来た。おれはおとさんもつれてってったのんだ。だけどだめだってゆわれた。おとさんは先生よりなんにちもまえからげんきがないってゆったのに、だめだった。おれはおいだされて、もう先生のうちに来んなってゆわれた。おれはいえにいたくねえ。くせえ。

黒分 12 日 あさ 10 じ、きゅうきゅうしゃがおとさんをむかえにきた。むかえに来たやつは、おれたちのうちはけんちくげんばのキャンズ寮^とから、にげてきたんだってゆった。それで、きんじょのうわさずきたちにばれちまった。おれはおかさんにいてほしかった。そしたらおれにやるみたいに、こええ目をへんなことゆうやつらにしてくれる。みんな、おれとおかさんをつれてかねえのかってきく。きゅうきゅうしゃのやつは、おれたちふたりにはびょうきがねえってゆった。だけどきんじょのうわさずきたちは、おれにいえから出んなってゆった。おれはいえのくせえのをかぎたくなかつた。だからまどからそを見た。きいぶおじさんが、おかさんはどこ行ったってきいた。おれはおとさんみたいにつよくなりてえけど、かってになみだが出る。おれはぐすぐすなきたくねえ。すげえつかれる。だからおれはきいぶおじさんに、おかさんはていあん兄さんのおみまいだってゆった。兄さんはごみばこのふたにこうぎに行って、ろうやに入ってる。おじさんも行きてえってゆった。だけどごみばこのふたはデモ集会^とをきんししてる。びょうきが広がるからだ。ていあん兄さんはぜんぜんびょうきじゃねえとおれはゆった。

黒分 13 日 いえにいと一日じゅうくせえにおいをかぐ。おとさんのいたところからくせえ。おれはおとさんのところをくぎってる、ぬのをめくるのがこええ。おとさんはふとんの下にびょうきがいるってゆった。おれはうじがいるのをほんとに見た

から、おかさんがむだに買った香水をいえのまわりにまいた。おれはおかさんに
あいてえ。だけどくせえびょうきと、いっしょにいなきやいけねえ。
おとさんがでんわをかけてきて、けっこうだいじょぶだってゆった。だけどおと
さんのこえはぜんぜんげんきなくて、おれはこわかった。おとさんは、どうろに
はこばれたからもうすぐなおるってゆってた。びょうきになったかんどふさん
も、もうなおるからどうろにおいてあるってゆってた。なおったらめんえきがつ
く。~~マタチ~~和久真をまたなくていい。もうすぐあえる。おれはおとさんとおか
さんにすげえあいてえ。おかさんがていあん兄さんのところに行ったから、あざ
はなおったかなってきいたら、おとさんはなんもゆわねえでないてた。

黒分 14 日

あさ 9 じにのんばあさんのみせに行った。おかさんがそのへんにいるゆめを見
たからだ。だけどおかさんはいなかった。おかさんはいちどもかえって来てね
え。おひるになったけど、おとさんはでんわしてこねえ。いえはすげえくせえ。
香水もねえ。おかさんがかえってきておこるのがこわかったから、おとさんにあ
いに行くことにした。びょうきのけんさをしたびょういんはおぼえてる。それで
おれはこっそり馬子にのった。

ごご 2 じ、ほどうきょうからとびおりた人がおちてきて、馬子がこわれた。お
れは、ちゅうごく人のひゃっかてんのまえで、すわってまってなきやいけなかつ
た。さいしょはみんなびっくりしたけど、とびおりた人がつれてかれたら、みん
ななんもゆわなくなった。おれとだむが馬子からおろされて、それでともだちに
なった。あいつはおれの手をなめたがった。それでおれは、あいつといっしょ
に、ひゃっかてんのわきにかくれてた。

ごご 3 じから 6 じ、馬子はぜんぜん来ねえ。それでおれはだむのやつとあるい
て、足がいたくなった。どうろのごみ山でくいもんをさがした。おとなが来て、
おとなのものにさわんっておいはらわれた。おれたちはべつのごみ山のところ
にかくれたけど、そこにはくいもんはなかった。

白分 1 日

あさ 8 じに馬子にのろうとした。だけどだむのやつをのせねえってゆわれて、
あいつがかわいそうでおれもおりて、あるいた。足がいてえ。

ごご 2 じ、ごみごはんをくぼってる人がいてそれをもらった。デモ集会に来て
る人にくぼってる。おれは見にいてみたけど、たのしくなかった。おれとだむ
のやつはほうすいされて、ごむだんをうたれた。だむの目玉がうらがえしになっ
た。

判読不能

ごご7じ、ごみごはんをくばってた兄さんが、いえでおれのけがを手あてしてくれた。おれはなきやまなかった。すげえいてえし、あつい。だむにあいてえ。あいつがいっしょにおとさんのところにあるいてくれてて、おれの手をなめてるゆめを見た。

白分2日

あさ2じ、兄さんたちがおきた。なんでかってゆうと、

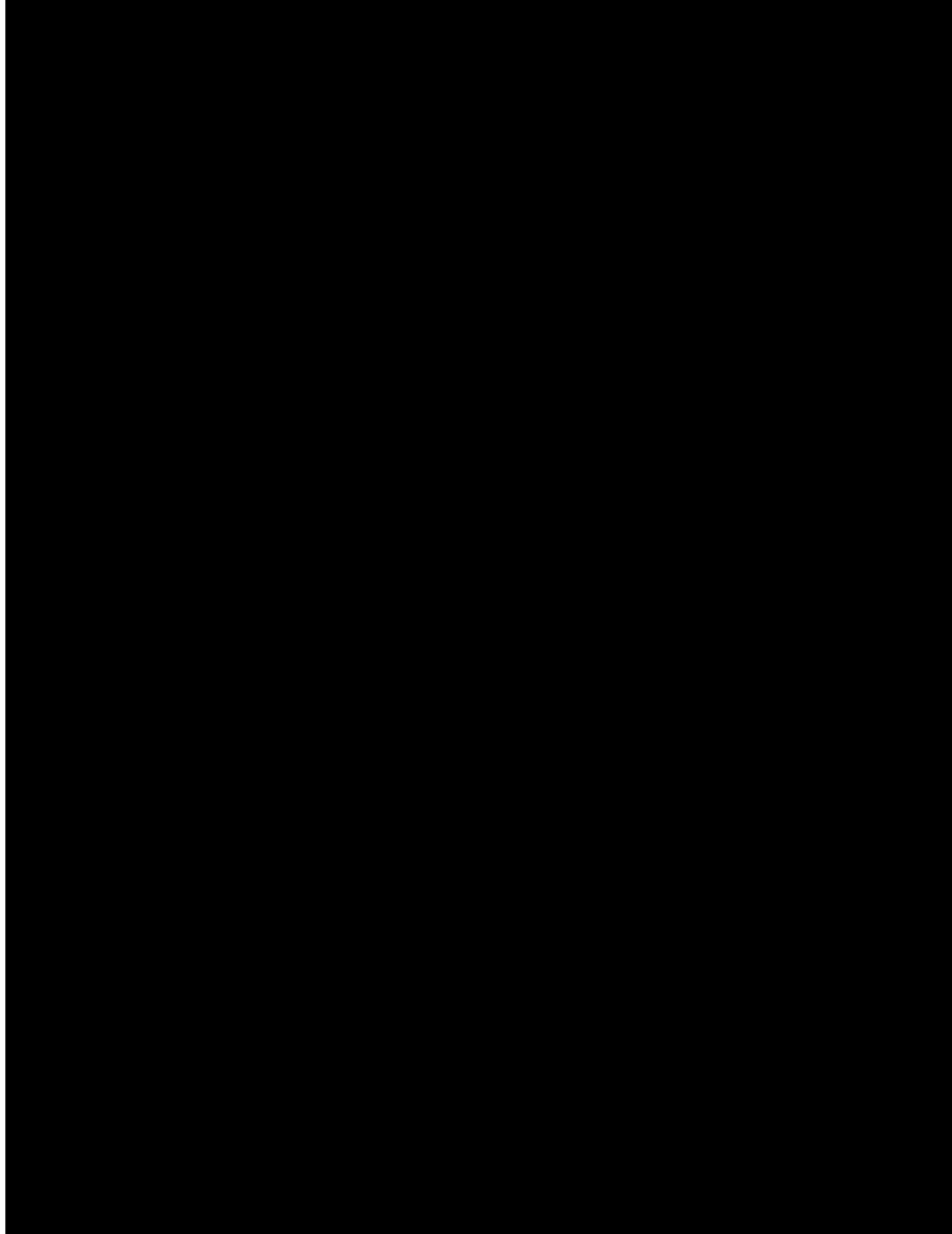
判読不能

あさ4じ、おれはもうはしれなかった。そいで兄さんはつかまった。

判読不能

白分3日

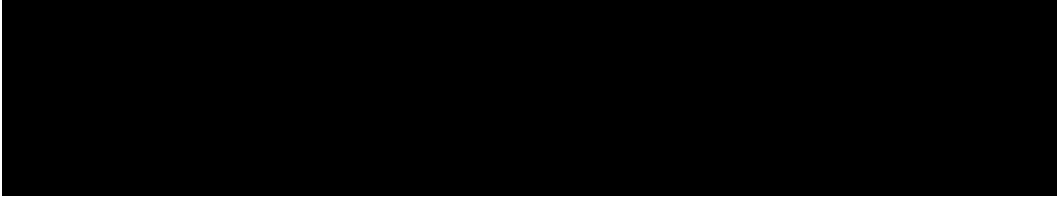
判読不能



白分 4 日



判読不能



あさ9じ、びょういんについたっておこしてもらった。おいしゃさんがにげえくすりをくれたけど、おれはぜんぶはいた。おいしゃさんがたいむらいんをかけてゆう。おき上がってかくのはつれえ。だけどみんな、かいたらおとさんにあえるってゆう。

おれはすげえうれしい。もうすぐおとさんにあえる。